



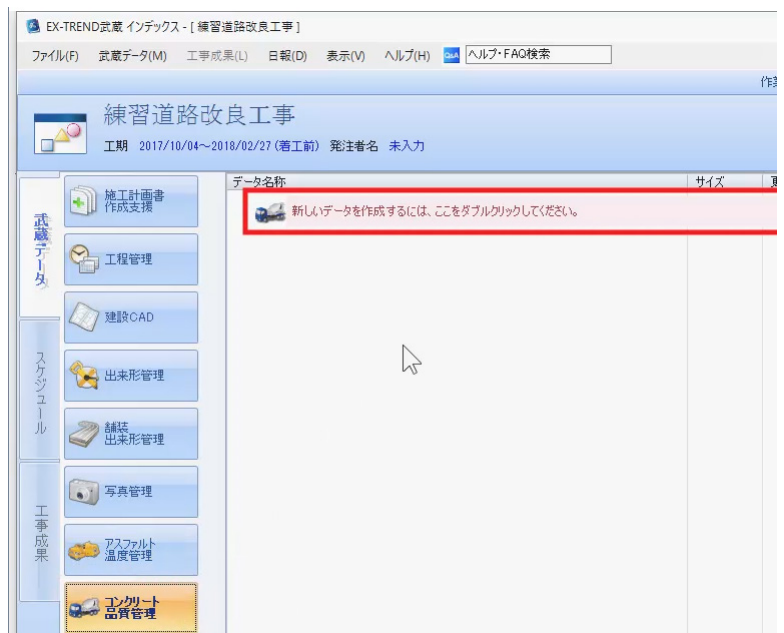
## Co 品質管理・As 温度管理

1 コンクリート品質管理	1
2 アスファルト温度管理	6

# 1. コンクリート品質管理

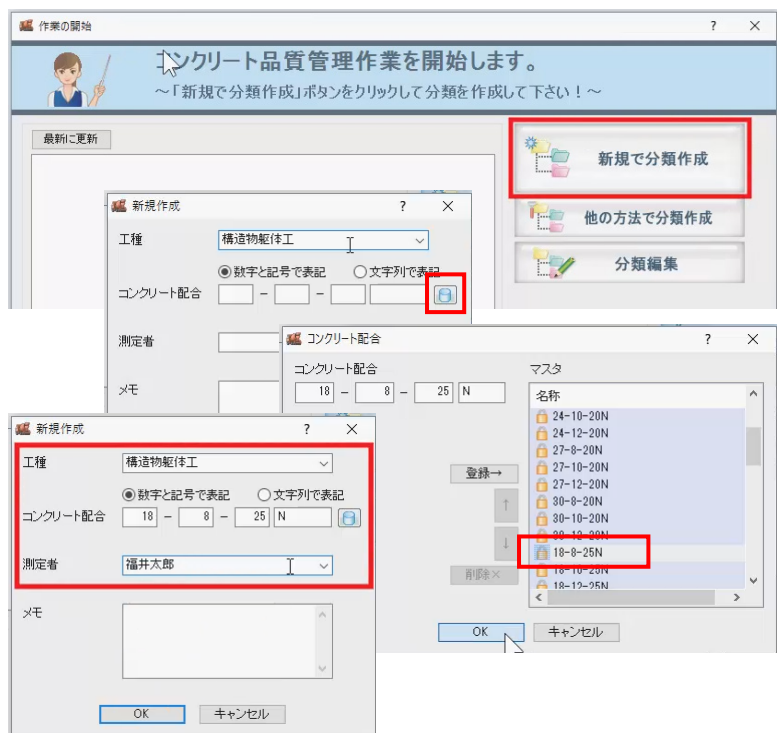
コンクリート品質管理プログラムを起動しましょう。

プログラム一覧から「コンクリート品質管理」をクリックし、「新しいデータを作成するにはここをダブルクリックしてください。」をダブルクリックします。



新規で分類を作成しましょう

「新規で分類作成」をクリックします。



【工種】に「構造物躯体工」と入力します。

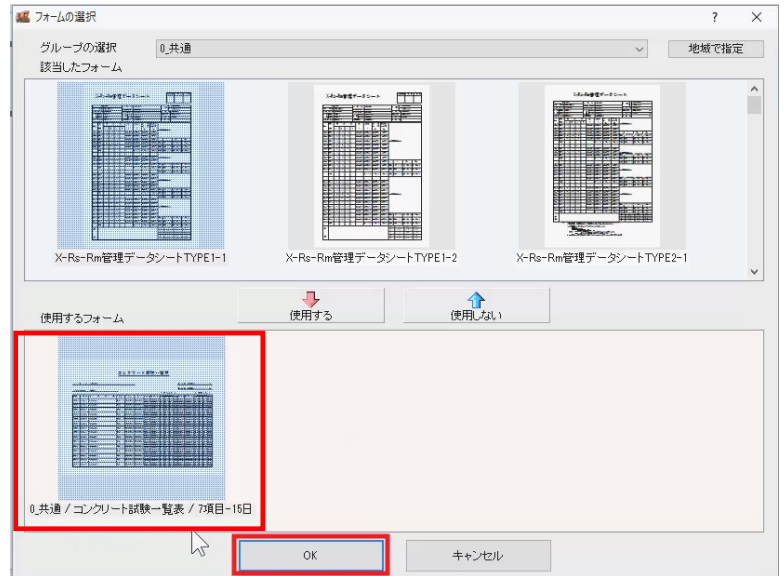
【コンクリート配合】は数字と記号で入力しましょう、マスタから「呼び強度 18－スランプ 8－粗骨材の最大寸法 25 mm－セメントの種類 N」を選択し、【測定者】に「福井太郎」と入力して【OK】をクリックします。

フォームを確認しましょう。

【変更】をクリックします。



上部のリストから選んで使用するフォームに追加することもできますが、ここでは初期値の「コンクリート試験一覧表/7項目-15日」のみの状態で [OK] をクリックします。

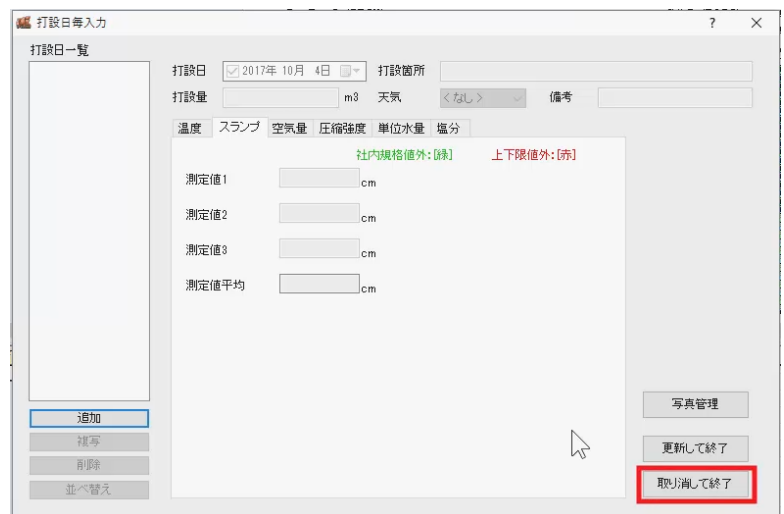


作業を開始しましょう。

[作業開始] をクリックします。



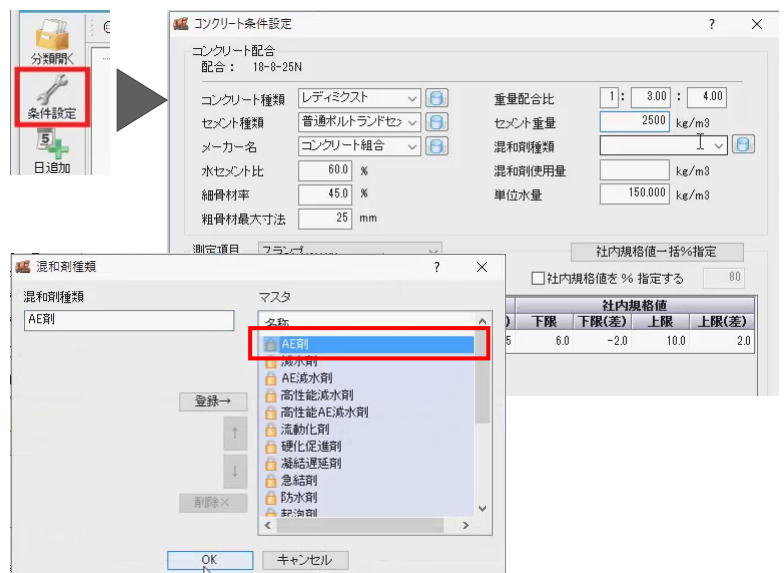
[打設日毎入力] ウィンドウでの測定データの入力は条件設定後におこなうため、ここでは [取り消して終了] をクリックします。



[条件設定] をクリックします。

[コンクリート種類] に「レディミクスト」、  
[メーカー名] に「コンクリート組合」、  
[水セメント比] 「60%」、  
[細骨材率] 「45%」、  
[重量配合比] 「1 : 3 : 4」、  
[セメント] 重量 2500kg/m<sup>3</sup> と入力します。

混和剤種類はマスタから「AE 減水剤」を選択し、使用量は「1」と入力します。



また、[測定項目] を切り替えて条件設定をおこなえますが、ここでは初期値のまま操作します。

[OK] をクリックします。

データを入力しましょう

[日毎入力] をクリックします。

[追加] をクリックして日付を指定し [OK] をクリックします。

[打設箇所] にNo.1~No.3、[打設量] に「100」と入力します。

[温度] タブで [打設温] 「13℃」、  
[外気温] 「15℃」、  
[養生温] 「20℃」と入力します。

[スランプ] タブでは [測定値 1] 「8.5」、  
[測定値 2] 「9.0」と、

【空気量】タブではこのように、

【圧縮強度】タブでは【7日標準】 【7日現場】  
【28日標準】 【28日現場】 とこのように、

【単位水量】 【塩分】 もそれぞれこのように入力します。

他の打設日を追加する場合も同様の手順で入力します。

入力が終了したら【更新して終了】をクリックします。

テストハンマーの測定データを入力する場合は [テストハンマー] からおこなってください。

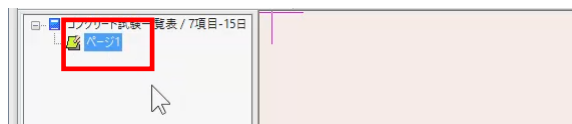


[成果編集] に切り替えて帳票を編集しましょう。

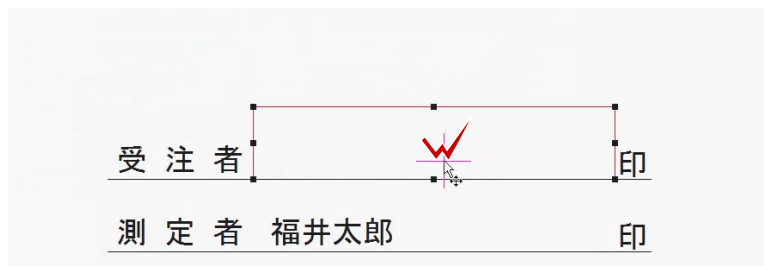


[成果編集] をクリックします。

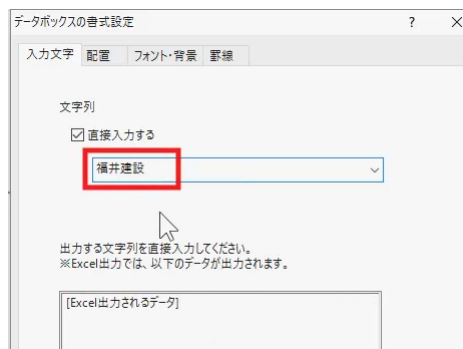
編集するページを指定します。



編集箇所、ここでは受注者の入力欄をダブルクリックします。



[直接入力する] のチェックを ON にして「福井建設」と入力し [OK] をクリックします。

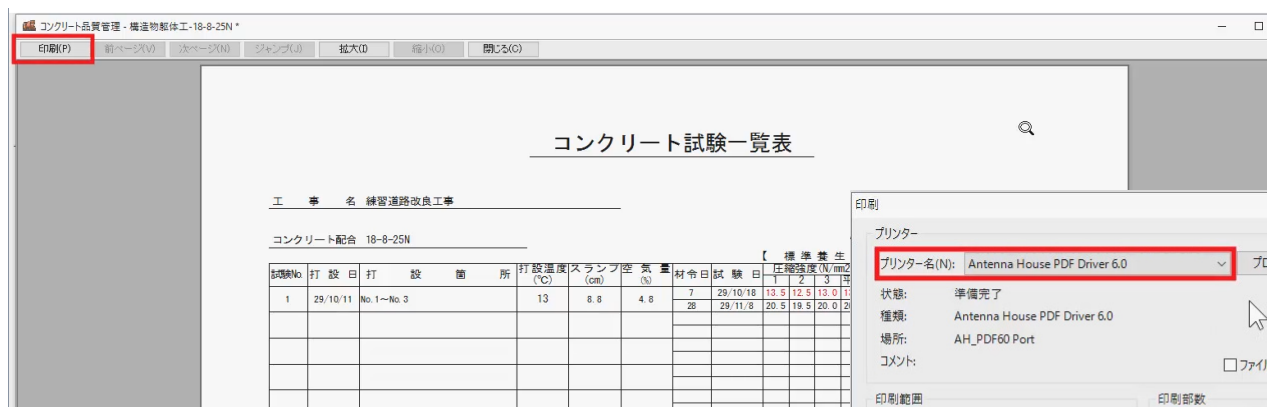


印刷プレビューで確認し印刷しましょう。

[印刷プレビュー] をクリックします。



確認後左上の [印刷] をクリックします。



[プリンター名] 等を確認して [OK] をクリックしてください。

ここでは [キャンセル] をクリックします。

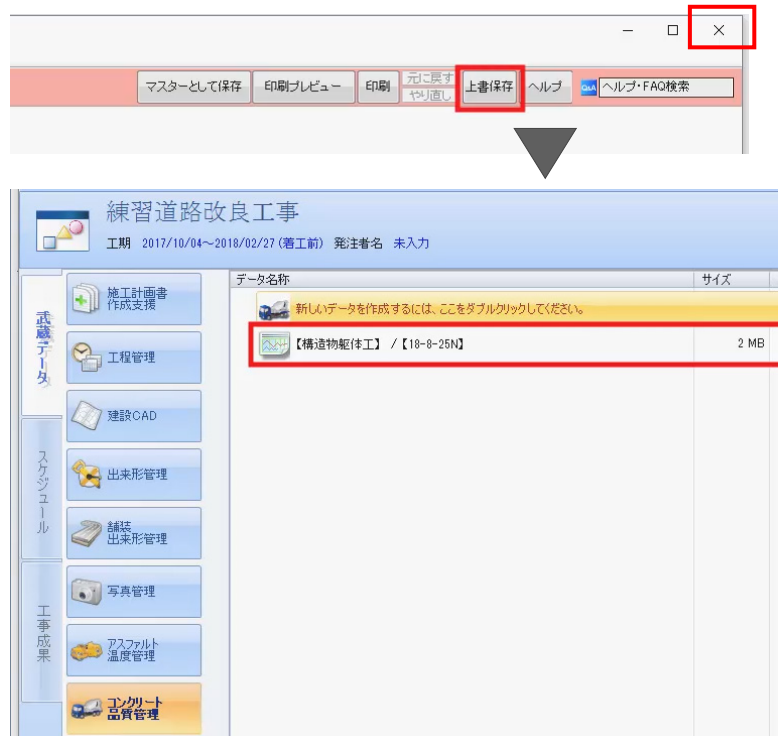


データを保存して終了しましょう。

[上書き保存] をクリックします。

完了後右上の [閉じる] ボタンをクリックします。

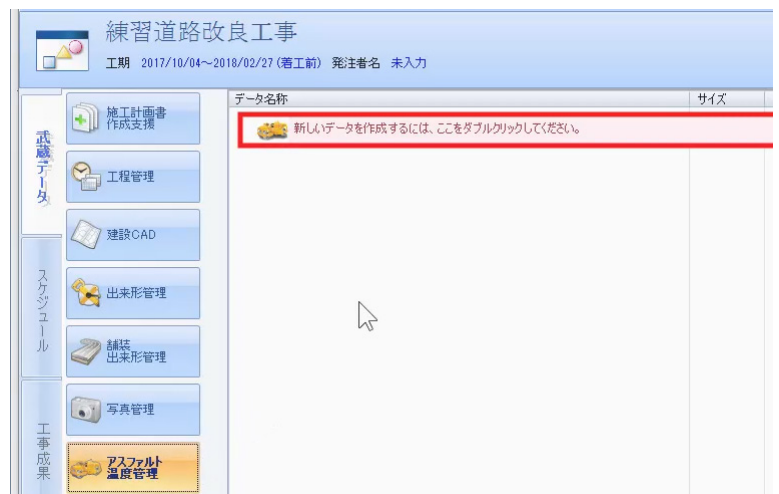
インデックスのコンクリート品質管理にデータが保存されます。



## 2. アスファルト温度管理

アスファルト温度管理プログラムを起動しましょう。

プログラム一覧から「アスファルト温度管理」をクリックし、「新しいデータを作成するにはここをダブルクリックしてください。」をダブルクリックします。

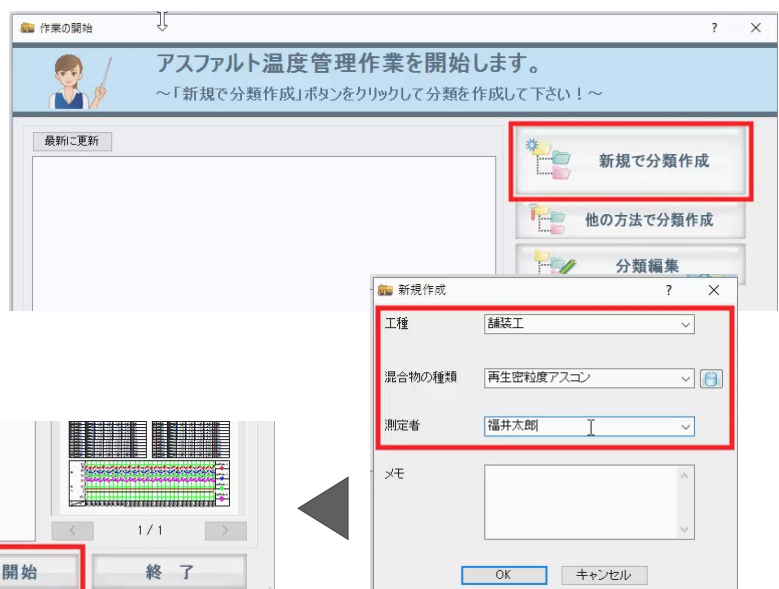


新規で分類作成し作業を開始しましょう

「新規で分類作成」をクリックします。

[工種] に「舗装工」、  
[混合物の種類] に「再生密粒度アスコン」、  
[測定者] に「福井太郎」と入力して [OK] をクリックします。

[作業開始] をクリックします。





測定条件を設定しましょう

[条件設定] をクリックします。

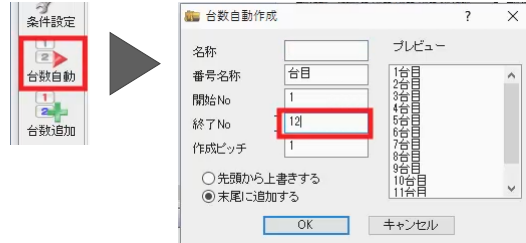
[管理温度数設定] で「4 温度管理」を選択し  
[OK] をクリックします。



ダンプ台数を入力しましょう。

[台数自動] をクリックします。

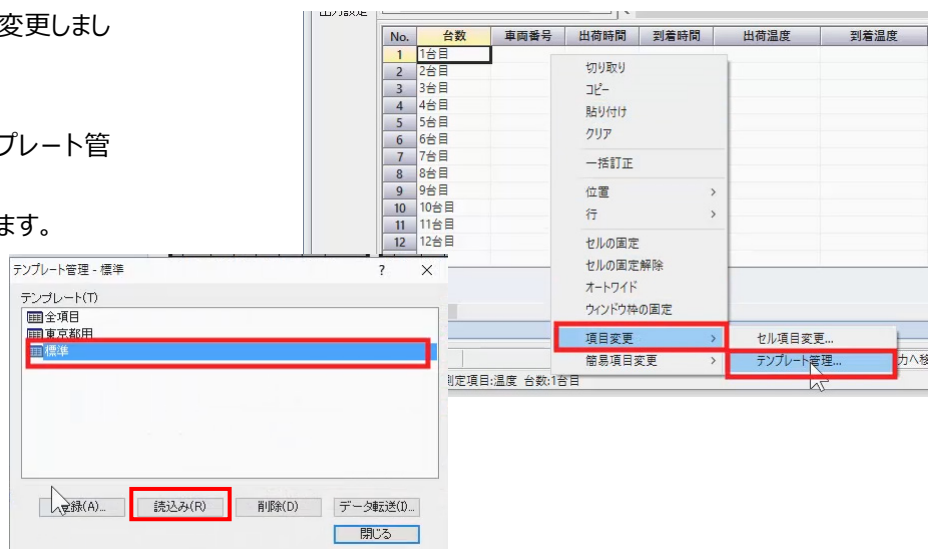
[終了No.] に「12」と入力し [OK] をクリックし  
ます。



テンプレートを読み込んで表示する項目を変更しまし  
よう。

セル上で右クリックし「項目変更」-「テンプレート管  
理」を選択します。

[標準] を選択し [読み込み] をクリックします。



標準では 7 つの項目が表示されます。

No.	台数	測点名	測定日	出荷温度	到着温度	数均温度	初期転圧温度
-----	----	-----	-----	------	------	------	--------

データを入力しましょう

1 台目の [測点名] セルに「No.0」と入力します。

[測定日] セルに日付を入力します。

[出荷温度] に「178」、[到着温度] に「163」、

[数均温度] に「132」、[転圧温度] 「124」と  
入力します。

No.	台数	測点名	測定日	出荷温度	到着温度	数均温度	初期転圧温度
1	1台目	No.0	2017/10/12	178	163	132	124
2	2台目						
3	3台目						
4	4台目						

同様の手順で 2 台目以降も入力します。

帳票の編集、印刷、保存は「1.コンクリート品質管  
理」と同様の操作でおこなえます。

以上でコンクリート品質管理とアスファルト温度管理  
のご説明を終了いたします。